

平成31年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

世界史

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注意事項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから9ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 次の文章は、「高等学校学習指導要領」(平成21年3月)の世界史Bの「2 内容」から一部抜粋したものである。文章中の下線部(a)～(c)について、後の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(3) 諸地域世界の交流と再編

(a) ユーラシアの海域及び内陸のネットワークを背景に、諸地域世界の交流が一段と活発化し、新たな地域世界の形成や再編を促したことを把握させる。

(4) 諸地域世界の結合と変容

(b) アジアの繁栄とヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進展したこととともに、主権国家体制を整え工業化を達成したヨーロッパの進出により、世界の構造化が進み、社会の変容が促されたことを理解させる。

オ 資料からよみとく歴史の世界

主題を設定し、その時代の資料を選択して、資料の内容をまとめたり、(c) その意図やねらいを推測したり、資料への疑問を提起したりするなどの活動を通して、資料を多面的・多角的に考察し、よみとく技能を習得させる。

- (1) 「東アジアの人々の世界観の変容」という主題で、後の資料A、資料Bを活用して探究する授業を1単位時間構想したい。あなたはどのような指導を行いたい。次の授業構想シートの留意点(※)に従って解答用紙の空欄①、②に記述せよ。

授業構想シート		
本時の目標	①	※上の文章中の下線部(a)、(b)に留意しながら、具体的に記述すること。 ※文末は「～について考察する。」とすること。
生徒への発問	②	※本時の目標を達成するため、資料A、資料Bを用いて、どのような発問をしたらよいか、上の文章中の下線部(c)に留意しながら、2つ記述すること(ただし、下の問い(2)の内容は除く)。

資料A 「混一疆理歴代国都之図」

資料B 「坤輿万国全図」

- (2) 授業中に、生徒から「マテオ=リッチはイタリア出身なのに、なぜイタリア中心の世界地図を作成しなかったのだろう」という疑問の声があがった。これに対する理由として、どのようなことが考えられるか。マテオ=リッチが当時中国へ訪れた目的と関連付けて説明せよ。

2 次の文章A～Cを読み、(a)～(h)に適切な語句を入れ、(1)～(6)の問いに答えなさい。

A 漢代の初めには法家や道家の思想が力をもったが、武帝の時代には、(a)の提案により儒学が官学とされ、礼と徳の思想による社会秩序の安定化が図られた。

魏晋南北朝の動乱時代は、多民族がまじりあう状況のなかで、多様な思想・文化が開花した時期であった。仏教の普及に刺激されて、この頃①道教が成立した。道士の(b)は教団をつくって北魏の太武帝に信任され、仏教と対抗して勢力をのばした。当時の文化の1つの特色は、精神の自由を重んずるということである。②文化人のあいだでは、道徳を強調する儒教よりも規範にしばられない趣味の世界が好まれた。

隋は南北朝時代につくられた制度を取り入れ、均田制・租庸調制・府兵制により財政・軍事の基礎を固めようとした。また、官吏登用法については、三国時代の魏から始められた(c)を廃止し、儒学の試験によって広く人材を求める科挙の制度をつくって中央集権化を図った。

(1) 下線部①について、道教とはどのような信仰、思想や説を取り入れて成立したものか、簡潔に説明せよ。

(2) 下線部②に関して、「竹林の七賢」ら当時の文化人が好んだ論議について、簡潔に説明せよ。

B 唐の文化の特徴は、北朝の遊牧民系の文化と南朝の貴族文化、および東西交流の盛況を通じてもたらされた外来文化が融合した点にある。思想・宗教の面では、儒教・仏教・道教の三教が、隋唐時代になると密接に関係しあいながらそれぞれ独自に発展をみせるようになった。儒教では、唐初の儒学者(d)が顔師古らとともに官撰注釈書『五経正義』を編集して、南北に分裂していた五経の解釈を統一した。

宋代になると、③科挙が官吏登用法の中心として整備された。この時代の儒学(宋学)は、北宋の(e)に始まり、南宋の朱熹(朱子)によって大成されたので、朱子学ともいう。④朱子学では、中華と夷狄の区別や、君臣間の区別を強調する大義名分論が強調された。

モンゴル時代には、ユーラシアを東西につなぐ交通路が整備されたため、東西文化の交流が盛んになった。元は中国の統治に際して、中国の伝統的な官僚制度を採用したが、科挙の行われた回数は少なく、実質的な政策決定は、中央政府の首脳部を独占するモンゴル人によって行われた。

また、(f)と総称される中央アジア・西アジア出身の諸民族が、財務官僚として重用された。武人や実務官僚が重視され、儒学の古典に通じた士大夫が官界で活躍する機会は限られていた。

(3) 下線部③について、宋代に整備された科挙の最終試験の名称とその目的について説明せよ。

(4) 下線部④について、大義名分論が強調された背景としては北方民族との関係に苦しむ宋代社会が考えられる。12世紀前半の南宋と北方民族との関係について、具体的事例を挙げながら次の語句を用いて説明せよ。なお、使用した箇所には下線を付すこと。

語句

淮河

秦檜

C 明はモンゴルへの対抗から中国文化の復活を強く意識して朱子学を官学とし、⑤15世紀の永楽帝の時代には『四書大全』『五経大全』『性理大全』などの経典注釈書や、類書（百科辞典）『永楽大典』の編さんを進めた。しかし、朱子学はやがて科挙受験のための学問となって形式化したので、朱子学に批判的な（g）が16世紀初めに陽明学をひらいた。

明清交替の動乱を経験した顧炎武や黄宗羲など清初の学者は、社会秩序を回復するには現実を離れた空論ではなく、事実に基づく実証的な学問が必要だとして、歴史研究をふまえつつ、社会問題の解決をめざした。実証を重視するその主張は、清代中期の学者に受け継がれ、儒学の経典の校訂や言語学的研究を精密に行う（h）が発展して、錢大昕などの学者が出た。清の国力が衰えた19世紀半ばになると、魏源らが古典と現実を結びつけた改革論を唱えた。その流れはやがて、「孔子の現実理性を混迷の時代のなかで活かすとすれば、西洋の知識・文物をも取り入れて変革をめざすべき」と説く⑥清末の公羊学派に結びつき、近代化の土壌をつくった。

(5) 下線部⑤について、この時期における東アジア諸地域の情勢の説明文として、正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 日本では海外渡航希望者に朱印状を発給した朱印船貿易が盛んに行われ、渡航した先のシャムやカンボジアなどの都市には、移住した日本人たちにより日本人町が形成された。

イ 朝鮮半島では、朝鮮（李朝）第4代国王世宗の時に独自の表音文字である「訓民正音」がつけられた。

ウ ベトナムでは、李朝のもとで儒教・律令制などに基づく中国的な官僚国家体制がつけられた。

エ 琉球では、中山王尚巴志が南山・北山を滅ぼして琉球王国を樹立したが、まもなくオランダに征服された。

(6) 下線部⑥に関して、下の資料1は公羊学派の代表的人物である康有為が1912年に記したものである。また、後の資料2は同年の1912年に出されたものである。2つの資料から読み取れる、宗教の扱いに対する康有為の主張と中華民国臨時約法との相違について、当時の政治的対立にも触れながら説明せよ。

（資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。）

資料1 康有為「孔教会序」

（歴史学研究会編『世界史史料9』（岩波書店）より）

(歴史学研究会編『世界史史料9』(岩波書店)より)

3 次の文章A～Cを読み、(1)～(6)の問いに答えなさい。

A トルコ系遊牧民としては、前3世紀頃からモンゴル高原北部で活動していた丁零があり、匈奴に対して抗争と服属をくりかえした。この後身の高車は、5世紀末に柔然から自立して、モンゴル高原西部からアルタイ山脈西南部まで勢力をのぼし、モンゴル高原東部の柔然、中央アジアの(a)と中央ユーラシアを三分した。(a)は5世紀半ば頃からアム川・シル川流域を拠点に勢力をのぼし、西では(b)朝ペルシアを苦しめ、南ではインドの①グプタ朝に侵入してこれを衰亡させた。高車は6世紀に勢力を失ったが、その後身の一派突厥が、6世紀半ばに強大となった。

しかし6世紀末に東西に分裂し、西突厥は中央アジアとタリム盆地周辺、東突厥はモンゴル高原を支配した。東突厥は、遊牧民族最古の文字とされる突厥文字を残している。

(1) 文中の(a)～(h)に入る適切な語句を以下の語群ア～ソよりそれぞれ1つずつ選び、記号で答えよ。

語群

ア	スルタン	イ	ヒクソス	ウ	アケメネス	エ	ウイグル
オ	トルキスタン	カ	契丹	キ	メフメト2世	ク	ササン
ケ	アッバース1世	コ	エフタル	サ	ムラト1世	シ	アンカラ
ス	マンジケルト	セ	スレイマン1世	ソ	スキタイ		

(2) 下線部①について、この王朝の説明文として正しいものを、次のア～エから1つ選び記号で答えよ。

ア 第3代アショーカ王の時代が最盛期で、その支配領域は南端部をのぞく全インドに及んだ。

イ カニシカ王の時代に、ガンダーラ地方のプルシャプラ(現ペシャワール)を都として、中央アジアからガンジス川中流域までを支配した。

ウ ドラヴィダ系民族により建てられたこの王朝はデカン地方を支配し、ローマとの海上貿易によって繁栄した。

エ 第3代王のチャンドラグプタ2世のとき、北インドの大半を支配した。この王朝の時代にはインド固有の宗教としてのヒンドゥー教が確立した。

B 東突厥は630年唐に併合され、西突厥も唐にタリム盆地をうばわれて衰え、7世紀半ば頃唐に併合された。東突厥は約50年後に再興し、モンゴル高原で勢力を持ったが、8世紀半ば頃、服属していたトルコ系の(c)にとってかわられた。(c)は唐を助けて安史の乱を鎮圧し、衰退した唐を屈服させ、モンゴル高原から中央アジアにまたがる強国となった。

中央ユーラシアの草原で遊牧を生業としていたトルコ系の人々は、9世紀頃から戦争捕虜となったり、あるいは奴隷として購入されて、アッバース朝やサーマーン朝などの軍事力として重用されるようになった。サーマーン朝に軍人としてつかえたトルコ系の人々は後に自立して王朝を建て、②インドのイスラーム化の契機をつくった。

(c)の民族の帝国が9世紀半ば頃に崩壊した後、中央アジアのオアシス住民はしだいにトルコ語を身につけるようになり、数世紀を経て(d)(ペルシア語で「トルコ人の土地」の意)へと変貌していった。

- (3) 下線部②について、10世紀から13世紀初めにかけてインドがイスラーム化していく過程を、次の語句を用いて説明せよ。なお、使用した箇所には下線を付すこと。

語句

アイバク	アフガニスタン
------	---------

C 13世紀末、オスマン=ベイ(オスマン1世)が率いるトルコ系遊牧民を中心とする集団が勢力を拡大して、アナトリア西北部にオスマン帝国を建設した。14世紀後半には、コソヴォの戦いやニコポリスの戦いでセルビアやハンガリーをやぶり、バルカン半島の大部分を支配し、王は(e)の称号を採用するなど国家の体制をととのえた。しかし1402年、(f)の戦いで③ティムール軍に大敗してバヤジット1世も捕虜となり、帝国は一時打撃を受けた。その後、すみやかに帝国は再建され、1453年、(g)はコンスタンティノープルを攻略してビザンツ帝国を滅ぼし、その地を首都と定めた。

オスマン帝国は、セリム1世の治世下で④サファヴィー朝をやぶって優位にたち、また1517年には、マムルーク朝を滅ぼしてメッカ・メディナを保護下においた。次の(h)の時、オスマン帝国は最盛期をむかえ、ハンガリーを征服してウィーンにせまった。

- (4) 下線部③について、ティムールが都とした都市は、古来からオアシス都市として東西交易で栄えた。この都市を答えよ。
- (5) 下線部④について、次の資料は、16世紀末にこの王朝の都となった都市について記したものである。この資料を記したシャルダン(17世紀にパリに生まれたユグノーの宝石商人であった。この人物がどのような点においてこの都市の様子を評価しているのか。1685年にフランス国王により発せられた宗教に関する命令に触れながら、説明せよ。

(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料 シャルダン『ペルシア旅行記』(1711年刊)

(歴史学研究会編『世界史史料2』(岩波書店)より)

- (6) 生徒から、「アナトリアで興ったオスマン帝国は、どのような経緯で現在のトルコ共和国にとってかわられたのか」という質問を受けたとする。今日のトルコ共和国の成立について、20世紀前半の出来事を中心に説明せよ。

4 次の文章A～Cを読み、(a)～(n)に適語を入れ、(1)～(11)の問いに答えなさい。

A ローマでは、前27年に元老院からアウグストゥスの称号を与えられた(a)が、市民のなかの第一人者という意味のプリンケプスとして元首政を行い、帝政時代が始まった。それから五賢帝時代が終わるまでの約(b)年間は「パクス=ローマナ(ローマの平和)」と呼ばれる。この平和のもとで経済活動も盛んになり、地中海世界だけでなく、インド・東南アジア・中国とも交易が行なわれた。五賢帝の時代はローマの最盛期で、特に①トラヤヌス帝の時代に領土は最大となり、アジア・アフリカ・ヨーロッパの三大陸にまたがる大帝国が形成された。帝国内には多数のローマ風都市が建設され、②それらを結ぶ街道がめぐらされた。都市には(c)と呼ばれる広場があり、行政機関や市場などがある市民の生活の場として利用された。それぞれの地域で信仰されてきた神々も尊重され、首都であるローマには、多くの神々や皇帝をまつる(d)も建設された。また、国家支配の実用的手段として後世に最も大きな影響を与えたローマの文化遺産は③ローマ法である。

五賢帝最後のマルクス=アウレリウス=アントニヌス帝の治世の末期頃から、帝国の財政は行き詰まり、政治も乱れはじめ、3世紀には軍人皇帝の時代になった。危機に陥った地中海世界を安定させたのは、284年に即位したディオクレティアヌス帝であった。彼は広大な帝国を統治するため④テトラルキア(四帝分治制)をしいた。

- (1) 下線部①について、ローマ帝国の最大領土内に含まれる地域として、誤っているものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア ブリタニア南部

イ カスピ海東南部

ウ 黒海北岸部

エ イベリア半島西部

- (2) 下線部②について、このような街道網の構築は、ローマ帝国による広大な領土支配においてどのような意義があったのか、簡潔に説明せよ。

- (3) 下線部③について、ローマ市民権所有者にのみ適用される法を市民法と呼ぶのに対して、様々な風俗・習慣を持つ民族全てに適用される法を何というか答えよ。

(4) 下線部④について、この内容を簡潔に説明せよ。

B 19世紀半ばに「世界の工場」となったイギリスは、世界に広がる植民地帝国を形成した。イギリスの覇権が確立した時代は「パクス=ブリタニカ（イギリスの平和）」と呼ばれる。イギリスは、1837年に即位した（e）のもとで大英帝国の名にふさわしい黄金時代をむかえ、1851年にはロンドンで世界最初の（f）が開かれ、国内外に近代工業力の成果を誇示した。⑤このようなイギリスの繁栄は、自由主義によって支えられていたが、この時期、保守党と自由党の二大政党によって交互に政権が担当される議会政治が展開した。また、⑥選挙法改正によって民主化がすすみ、⑦諸改革が推進された。

1870年代以降になると、世界的な不況や他の工業国との競合による地位の低下に直面し、それまでの自由主義的な政策の見直しが行われた。特に本国と植民地の連携を強化して、世界の覇権国家の立場を維持しようとし、保守党のディズレーリ内閣は1875年に（g）会社の株式を買収し、エジプトでの権益を強化した。インドでは、（h）会社は1833年以降商業活動が停止されていたが、1858年に解散され、その後（e）がインド皇帝に即位して1877年に英領インド帝国が成立した。南アフリカは、南アフリカ戦争を経て、1910年に南アフリカ連邦として自治領となり、⑧人種差別的な政策が実施された。アイルランドでは、1840～50年代の大規模なジャガイモ飢饉を経て、イギリスに対する自治・独立の要求が激化していった。自由党の（i）内閣は、1886年にアイルランド自治法案を提出したが、イギリス人地主の反対で成立しなかった。

(5) 下線部⑤について、イギリスが他国に対して自由貿易を要求した理由を簡潔に説明せよ。

(6) 下線部⑥について、第2回選挙法改正（1867年）の内容を簡潔に説明せよ。

(7) 下線部⑦について、これにより廃止された法や制度に該当しないものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 奴隷貿易・奴隷制度

イ 穀物法

ウ 航海法

エ カトリック教徒解放法

(8) 下線部⑧について、人種差別撤廃をめざし、1912年に南アフリカ先住民民族会議が創設された。この組織を1923年に改称した組織名を答えよ。

C 第二次世界大戦後、経済的覇権を握ったアメリカ主導のもとで新国際秩序の創建が進められた。新しい国際機関として⑨国際連合が発足し、国際金融・経済面での協力体制を築くために、国際的な為替の安定をはかる（j）、戦災国の復興と途上国の開発に融資する（k）、関税などの貿易障壁の撤廃を促し自由貿易を促進するための協定である（l）という3つの柱によってブレトン=ウッズ体制が整備された。これは、自国の巨大な経済力にみあう自由貿易体制の構築をめざすものであり、世界の基軸通貨はポンドからドルに移行した。

こうしたアメリカ主導の枠組みに対してソ連は強く反発し、国際連合には加わったものの、（k）には加わらなかった。経済的には1949年にソ連と東欧6カ国は（m）を結成し、経済協力関係を確

立する一方、軍事同盟としてワルシャワ条約機構を組織し対抗した。しかし、アメリカの経済力はソ連を大きく上回り、1950年代のアメリカは、科学と文化の世界的中心ともなった。

1960年代末になると、西欧・日本の台頭及び⑩ベトナム戦争の泥沼化でアメリカの経済的な覇権は揺らぎ、同じ頃、ソ連も経済が停滞していた。

1970年代に入ると、アメリカの財政はベトナム戦争の戦費や社会保障費の増大などによって悪化し、1971年には1世紀近く続いた貿易収支の黒字も赤字に転換した。⑪同年、ニクソン大統領はドルの金兌換停止やドルの切り下げを発表し、世界に衝撃を与えた(ドル=ショック)。1975年以降毎年、先進工業国は経済成長の鈍化や環境汚染など、相互に共通する問題に対応するために(n)を開催するようになった。

(9) 下線部⑨について、正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 国際連合憲章が正式に採択された場所は、アメリカのニューヨークである。
- イ 国際連合発足時のアメリカ大統領は、フランクリン=ローズヴェルトである。
- ウ 国際連合発足時に中国を代表していたのは、中華民国(国民政府)である。
- エ 国際連合発足時の加盟国数はおよそ80カ国である。

(10) 下線部⑩について、このことがアメリカ国内にどのような影響を与えたのか、簡潔に説明せよ。

(11) 下線部⑪について、この出来事以降、国際経済体制はどのように変化したのか、簡潔に説明せよ。

5 近年になっても、民主主義体制をとる国家は、いわゆる「ポピュリズム」(大衆迎合主義などの意)と呼ばれる政治運動が台頭する課題を持っている。このような現代的諸課題と、歴史的事象との時代を超えたつながりを考察する授業を1単位時間構想したい。「民主主義の持つ課題や在り方について考える」という主題を設定した上で、下の資料1、資料2を活用して、あなたはどのような指導を行いたいのか、次の授業構想シートの留意点(※)に従って解答用紙の空欄①、②に記述せよ。

授業構想シート	
本時の指導目標	① ※生徒に身に付けさせたい力を明示すること。
本時の主題	「民主主義の持つ課題や在り方について考える」
学習活動 (学習形態や使用する教材等)	② ※資料を活用しながら、社会事象間の類似や差異を明確にしたり、また事象どうしを因果関係で関連付けたりすること。
評価の観点	思考力・判断力・表現力

(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料1 元イギリス首相チャーチルが1947年に下院で行った演説の一部

- 6 西暦800年、ローマ教皇レオ3世は、フランク王国のカール大帝にローマ皇帝の帝冠を与え、「西ローマ帝国」の復活を宣言した。このことについて、カールの戴冠までの経緯とこの出来事が持つ歴史的意義を、8世紀の地中海世界の覇権に触れつつ、次の語句をすべて用いて300字以内で記述せよ。なお、それぞれの語句を初めて使用した箇所に下線を付すこと。算用数字は1マスに2桁まで可とし、国名は漢字略称を使用してもよい。

語句

ランゴバルド王国	アヴァール人	ウマイヤ朝	ビザンツ皇帝	ローマ教会
----------	--------	-------	--------	-------

科 目	世界史解答用紙	2枚中の1	受 験 番 号	氏 名
--------	---------	-------	------------------	--------

(31年)

1

(1)	①	
	②	
(2)		

2

	a		b		c	
	d		e		f	
	g		h			
(1)						
(2)						
(3)	名称		目的			
(4)						
(5)						
(6)						

3

(1)	a		b		c	
	d		e		f	
	g		h			
(2)						
(3)						
(4)						
(5)						
(6)						

以下はあくまでも解答の一例です。

科 目	世界史解答用紙	2枚中の1	受験 番号	氏 名
--------	---------	-------	----------	--------

(31年)

1. 【10点】

(1)	①	(例) 東アジアにイエズス会宣教師の来訪が活発化する中で、南北アメリカの存在を含めた西欧の進んだ科学技術が流入したことで、東アジアの人々の世界観がどのように変化したのかについて考察する。 【3点】
	②	(例) 資料A、資料Bの地図を比較して、どのような違いがあるだろうか。 【2点】
		(例) 資料A、資料Bの地図が作成された時代背景は、それぞれどのようなものか。 【2点】
(2)	マテオ=リッチはイエズス会宣教師であり、中国にキリスト教布教活動を目的として訪れたため、従来の中華思想に基づく中国中心の世界観を尊重しつつ、西欧の科学技術を紹介しようと考えたから。 【3点】	

2. 【20点】

	a	董仲舒	b	寇謙之	c	九品中正(九品官人法)
	d	孔穎達	e	周敦頤	f	色目人
	g	王守仁(王陽明)	h	考証学	【各1点】	
(1)	古くからの民間信仰と神仙思想に道家の説を取り入れて成立したものである。 【2点】					
(2)	世俗を超越した哲学的論議である清談が流行した。 【2点】					
(3)	名称	殿試 【1点】	目的	皇帝独裁体制を確立するため。 【1点】		
(4)	南宋では、金の圧迫を受ける中、秦檜を中心とした和平派が主戦派をおさえて金と和議を結び、淮河を国境として金に対し臣下の礼をとった。 【2点】					
(5)	イ	【1点】				
(6)	立憲君主政を掲げ、共和政の孫文と対立していた康有為は、孔子否定を批判し孔子崇拜を中心とした儒教国教化を主張している。一方、辛亥革命により成立した共和政の中華民国では、臨時約法において信教の自由を明記している。 【3点】					

3. 【20点】

(1)	a	コ	b	ク	c	エ
	d	オ	e	ア	f	シ
	g	キ	h	セ	【各1点】	
(2)	エ	【1点】				
(3)	アフガニスタンを拠点とするトルコ系のガズナ朝と、ガズナ朝から独立したゴール朝が北インドへの侵入を繰り返した結果インドのイスラーム化が進み、13世紀初めにはトルコ系マムルーク出身であるアイバクがインド初のイスラーム王朝である奴隷王朝をたてた。 【3点】					
(4)	サマルカンド 【2点】					
(5)	1685年にフランスではナントの王令が廃止され、宗教統制が行われていたことに対し、イスファハーンでは様々な宗教を信仰する自由が許されている点について評価している。 【3点】					
(6)	ムスタファ=ケマルを中心としたトルコ革命により、1922年にオスマン帝国が滅びアンカラを首都としてトルコ共和国が成立した。 【3点】					

科	世界史解答用紙	2枚中の2	受験番号	氏名
---	---------	-------	------	----

(31年)

4 【33点】

【各1点】

a	オクタウィアヌス	b	200	c	フオーラム
d	パンテオン(万神殿)	e	ヴィクトリア女王	f	万国博覧会
g	国際スエズ(スエズ運河)	h	東インド	i	グラッドストーン
j	国際通貨基金(IMF)	k	国際復興開発銀行(世界銀行、IBRD)	l	GATT
m	経済相互援助会議(COMECON)	n	先進(主要)国首脳会議(サミット)		

(1) イ 【1点】

(2) 軍の派遣を容易にするとともに、遠隔地商業ネットワークが形成された。 【2点】

(3) 万民法 【2点】

(4) 帝国を東西に分け、それぞれを正帝と副帝の2人が統治する体制。 【2点】

(5) いち早く産業革命を達成したイギリスは、他国よりも安く、大量の工業製品を輸出することができたから。 【2点】

(6) 都市工業労働者の上層に選挙権が与えられた。 【2点】

(7) エ (8) アフリカ民族会議(ANC) 【2点】 (9) ウ (7)(9) 【各1点】

(10) 学生を中心とする反戦運動が激化し、対抗文化(カウンターカルチャー)運動が高まった。 【2点】

(11) ブレトン=ウッズ体制が転換点を迎え、以降、主要通貨の為替レートが変動相場制に移行した。 【2点】

5 【7点】

① (例) 民主主義の持つ課題について、歴史的的事象と現代的諸課題を結び付けて多面的・多角的に考察し、民主主義の在り方について、自らの考えを表現する力を育成する。 【3点】

② (例) 【4点】

- 資料1から、チャーチル演説の真意について考察し、その内容をペアで相互に発表する。
- 資料2の(Ⅰ)から、ナチ党が植民地獲得や排外主義を主張していること、また(Ⅱ)から1920~30年代にかけて、ナチ党が選挙得票率を急速に増やし、合法的に政権を獲得したことを読み取り、その要因を考察する。4人グループになり考察した内容を一人ずつ発表する。
- ナチ党の勢力拡大には、当時、多額の賠償金支払いなど国際的圧力で追い込まれたドイツ民衆の圧倒的な支持が背景にあったことを確認し、結果としてファシズムを生み出していったことを考察する。
- 資料1、資料2から民主主義は大衆迎合主義に陥るといふ課題を持っていることを確認し、近年の世界情勢との類似点などを考察した上で、本日の主題について自分の考えを記述する。

6 【10点】

8世紀後半、カール大帝は北イタリアのランゴバルド王国を征服、ザクセン人や東方のアヴァール人、南方のイスラーム教徒を撃退するなど西ヨーロッパ主要部を支配下におき、フランク王国はビザンツ帝国に並ぶ強大国となった。ローマ教会はカールに帝冠を与えることでビザンツ皇帝に対抗する政治的保護者を作り出したが、これはウマイヤ朝の征服以来、地中海東岸から北アフリカ、イベリア半島までの覇権はイスラーム勢力に握られ、その圧力に対抗できる勢力をキリスト教世界に形成するためでもあった。カールの戴冠で西ヨーロッパが政治的・文化的・宗教的に独立し、古典文化・キリスト教・ゲルマン人が融合した西ヨーロッパ中世世界が成立した。